

令和4年度 学校評価アンケートのまとめ

早春の候、保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、保護者の皆様からご協力いただきました学校評価アンケートの結果がまとまりましたのでお知らせいたします。多くの皆様からの貴重なご意見を参考に、来年度の学校運営に生かしていきたいと思っております。

今年度の教育活動と各取組にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

【感染防止対策】

①今年度当校が取り組んできた様々な感染防止対策は、お子様の健康安全を守るという観点から、適切だったと思いますか。



<学校より> 学校では、感染が広がらないよう、できる限りの対策に努めてきました。しかし、当校の対応と世間での対応とのギャップを感じた保護者の方が多かったことが評価結果に表れているように感じます。今後の対応につきましては、県と協議し、当校児童生徒の実態に合わせた適切な対応となるよう努めたいと思っております。

②自宅待機時における対応（マチコミ・文書等での連絡、課題の準備、その他の対応）は、適切だったと思いますか。



<学校より> 学校では、急な感染発生確認から自宅待機をお願いする場合、できるだけ早く情報の伝達や学習課題の提供ができるよう準備を進めてきました。今後も、これまでの経験を生かしながら、課題の準備等を含めた丁寧な対応を進めてまいります。

③今年度の学校行事は、様々な制限がある中での開催となりましたが、工夫して取り組むことができたと思いますか。



<学校より> 今年度も、感染防止対策を講じながらの行事実施となりました。来年度は、現在よりも少し対策を緩和しながら行事を行う予定です。感染に対する不安が完全になくなってはいないため、元の形とまではいかないと思いますが、実施方法について部分的な改善を検討しています。また、行事が中止にならないように予備日を含めた日程の調整を行います。その時々々の状況に応じた計画とはなりますが、その中でベストに近い形で各行事が実施できるよう努めます。

【学習指導】

④「個別の指導計画」の目標を達成し、お子様のもっている力が高まったと感じますか。



<学校より>学校では、お子様一人一人の実態に合わせ、担当する職員間で検討し「個別の指導計画」を作成しています。今後も、複数の職員の間で見ながら指導にあたり、お子様のもっている力を高めていきたいと思えます。

⑤授業では、お子様の実態に合わせて学習内容や指導の方法が工夫されていると感じますか。



<学校より>高い評価をいただきました。今年度もICTの活用を積極的に行い、個に応じた活用を進めるなど、指導方法の工夫に取り組んできました。今後も、子供たちに合わせたICT教材やその他様々な教材などの活用を考え、工夫した指導を進めていきます。

【豊かな心の育成】

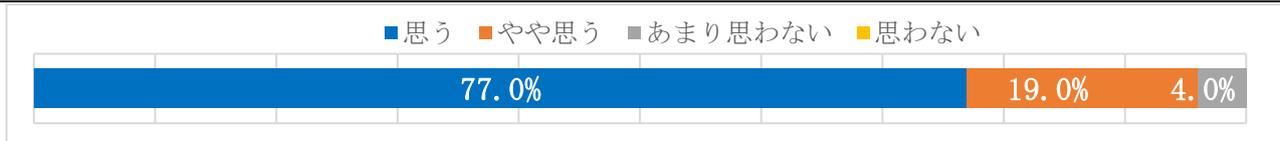
⑥様々な活動とおして、友達と共に過ごしたり助け合ったりして、温かい人間関係づくりや豊かな心の育成が進められていると感じますか。



<学校より>昨年度同様高い評価をいただきました。集団での活動に制限があり、人間関係づくりの面では難しい状況が続きましたが、学級やグループでの絆は強くなったように感じました。来年度も完全には制限がなくならないと思えますが、引き続き友達を思いやり、力を合わせてこの状況を乗り越えられる人間関係作りを進めていきます。

【健康な体づくり】

⑦体育や自立活動では、いろいろな運動やスポーツに親しみ、楽しんで運動に関する学習に取り組んでいると思えますか。



<学校より>今年度もコロナ禍ということで活動が制限されましたが、活動を工夫してできる限り運動量を確保しました。また、文化庁の事業を活用してプロダンサーの中澤先生から指導していただくことやダンス鑑賞会（ダンスワークショップを含む）を開催することができました。来年度も子供たちが運動やスポーツに親しめるよう取り組んでまいります。

⑧お子様の実態に合わせて健康管理や健康の保持・増進等の取組をとおして健康な体づくりが進められていると感じますか。



<学校より>今年度も感染防止対策として丁寧な健康観察や情報交換を行ってきました。来年度は、健康な体づくりという視点で、実態に合わせた感染対策は行いつつ、日常的に体を動かす機会を増やすなど、子供たちの実態に合わせた健康の保持・増進への取組も進めたいと思います。

【教育を支える運営の取組】

⑨お子様に合わせて、ICT 機器を授業や活動の中で活用していると感じますか。



<学校より>今年度も、積極的に ICT 機器を使った学習を進めてきました。来年度も一人一人に応じた ICT 機器を活用した授業に取り組み、ご家庭でも活用できるアプリや動画の紹介等も継続していきたいと考えています。

⑩共に生活する仲間を大切に、互いを思いやる仲間づくりや、いじめを生まない人間関係づくりが進められていると感じますか。



<学校より>当校では、学校カウンセラーにも参加をお願いしながら月に1回「いじめ対策委員会」を開き、組織的な対応を行ってきました。今後も子供たちのちょっとした変化に気づき、すぐに対応することができるように努めるとともに、学校全体で子供たちを見つめる体制を進めていきます。

⑪芸術作品の展示や花や植物とのふれあい等を通して、潤いのある環境づくりが進められていると感じますか。



<学校より>玄関ギャラリーや玄関前花壇等に装飾を行い、季節を感じられるようにしました。また、今年度はPTA 親子フォトコンテストの展示も期間を延長して行っていただき、みなさんの作品によって潤いある環境が整えられました。今後も、環境から情操を育てる教育を進めていきます。

⑫お便り等で授業の様子や学校の情報を提供し、保護者との連携に取り組んでいると感じますか。



<学校より>高い評価をいただきました。今年度も、ぽぷらだより・学級便り等を定期的に発行してきました。校内の様子ができるだけ保護者の皆様に伝わるように、今後も丁寧に情報を発信していきたいと思えます。

⑬お子様を支援するために、医療、福祉、労働等の関係機関と情報を共有したり連携したりする取組が進められていると感じますか。



<学校より>もう少し関係機関との連携をお願いしたいというご意見もいただきました。保護者の皆様の思いに応えられるよう、必要な情報の提供や必要に応じたケース会議等の実施を行います。今後も各機関との連携を密に、互いの情報共有等に努めたいと思えます。

【学校評議員(有識者)からのご指導・ご感想】

- コロナ以外の病気に対しての(念のための)対応は、施設としてはありがたかったです。
- 県内でICTが一番進んでいる学校だと思います。うまくいかないことも含めて先駆的に取り組んでもらいたい。さらなる躍進を期待しています。
- 今後、合理的配慮についての共通理解も大切ではないでしょうか。
- その子が将来どういった人生を送るのかを見定めた支援が大切だと感じています。本人がやりたいことだけに応えるのではなく、その子をどう育てるのかを考えた上で「今後生きやすくなる支援」を事業所が実践することが必要だと考えます。
- 事業所としては、障害者がどこにでもいる社会を目指して取り組んでいきたいと考えています。子供たちの社会参加に向けて共に協力していきましょう。
- 「関係機関との連携」に対する評価がやや低い部分に関しては、施設としても情報を発信する必要性を感じました。学校からの発信も今後期待しています。

【保護者の皆様からの主なご意見】

- ・分かりやすく楽しい授業をしてもらい、ありがたかった。
 - ・しんよう祭、ポプラ祭は個人の実態に合わせた競技内容、作品選びや展示の仕方が工夫されていて見応えがありよかった。
 - ・日頃の対応のおかげで、大きな感染の拡がりがなくよかった。感染防止対策は実情に合わせて見直してほしい。
 - ・濃厚接触者になり自宅待機となった場合、学校独自の7日間ではなく世間一般と同様に5日間が良いと思う。もちろん学校全体として重症化リスクが高いことも承知しているが、もう少し柔軟な対応でも良いのではないかな。
 - ・来年度以降も参観週間のような取り組みをしてほしい。
 - ・卒業後の進路についてたくさんの情報を提供してほしい。
 - ・外部機関を含めた情報交換の場を設定してほしい。
 - ・実施されなかった行事がある。日程の改善が必要。
- いただいたご意見をもとに、来年度の計画や対応の改善に努めます。ありがとうございました。

【お問い合わせ】

県立東新潟特別支援学校 教務主任 鈴木宏和
TEL 025-276-3262